参　考

答申の全体構成（事務局案）

第1章　バス交通の現状、及び今後の役割と課題

１－１　バス交通の現状　（審議会第１回）
- ○都市構造の変化によるバス利用者の減少
  - （１）自転車、自動車など私的交通機関との競合
  - （２）就労形態の変化
  - （３）土地利用の変化

１－２　バス交通の今後の役割　（審議会第２回）
- ○変化する都市構造へ対応した今後のバス交通の役割

↓

１－３　検討すべき課題　（審議会第３回・第４回）
- （１）市民・事業者・行政による適切な路線維持のあり方
- （２）将来のバスネットワークと路線形態のあり方

↓

第2章　バス交通維持の考え方

２－１　バス交通維持の考え方と維持方策の枠組みについて（審議会第３回・第４回）
- ○札幌市による主体的な維持方策の必要性（第一次答申）

２－２　利用環境改善による利用の促進（審議会第５回・第６回）
- ○維持方策と平行した利用環境改善の必要性

↓

第3章　将来のネットワークのあり方

３－１　都市交通体系の基本的な考え方　（審議会第７回）
- ○鉄道短絡型を基本とする交通体系について

３－２　ネットワークを構成するバス路線形態　（審議会第７回）
- （１）路線形態
- （２）結節点

↓

第4章　ネットワーク実現に向けた今後の進め方

４－１　市民の移動実態把握の必要性　（審議会第７回）
- ○パーソントリップ調査の活用と、恒常的実態調査の必要性について

４－２　市民・事業者・行政の協働の枠組みの確立　（審議会第８回）
- ○ネットワーク実現に向けた、３者の役割の明確化と協働体制のあり方の提示